

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2020 発表

「臨床整形外科」誌では整形外科領域に関する独創的で優れた論文を最優秀論文賞として表彰することとなりました。昨年1年間(2020年、55巻)に掲載された投稿論文を対象に、厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「非接触型膝前十字靱帯損傷の下肢前額面アライメント」

小関弘展・米倉暁彦・野口智恵子・中添悠介・砂川伸也

松村 海・渡部果歩・水上 諭・尾崎 誠

2020年8月号(55巻8号): 933-938

■受賞のことは

この度は、栄誉ある「臨床整形外科」最優秀論文賞 2020 に選出していただき、驚きとともに大変光栄に存じます。この研究にご協力いただいた方々、興味を持って論文を読んでいただいた方々に心より感謝申し上げます。

今回の論文は、膝前十字靱帯断裂を診断された若者アスリートが外来の隅で泣いている場面に幾度も遭遇した経験が大きなモチベーションとなりました。前十字靱帯断裂は女性に多く、靱帯再建術後に再断裂や反対側を受傷することがあります。女性は骨盤が広く、X脚の傾向が強いことから、下肢アライメントが解剖学的要因の1つになり得るのではないかとこの着想に至り、そして膝前十字靱帯断裂の骨解剖学的特徴の一端を導き出すことができました。

この論文の知見が整形外科医療、スポーツ指導、リハビリテーションの分野で少しでも活用されることを願っています。今回の受賞を励みとして、今後も皆様の診療にお役に立てるような研究を続けてまいりたいと思います。

(小関弘展)



小関弘展

長崎大学大学院

医歯薬学総合研究科保健科学分野

本論文は2022年6月1日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト「医書.jp」内において無料でご覧いただけます。受賞者には賞状と金一封、1年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。雑誌「臨床整形外科」に奮ってご投稿いただきますようお願い申し上げます。